

じんせいはいちどだけ

しんあいなるムスリムのみなさま!

わたしたちは、のこりのじんせいのうちいちねんをふたたびあとにしつつあります。いまこそ、せきにとわれるまえにみずからをかえりみ、ミーザーン（はかり）にかけられるまえにみずからのおこないについてかんがえるときです。「そのひ、にんげんはじぶんがすでにおこなったこと、あとにのこしてきたことをつげしらせられる」¹という、わたしたちのしゅのけいこくにしたがい、わたしたちがあとにのこしてきたものをふりかえり、このさきなにをするのかをぎんみするときです。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま!

とうといクルアーンには、つぎのようにしるされています。「そのひ、あなたがたは、かならずきょうらく[におんけいをろうひしたかどうか]についてとわれるだろう。」² わたしたちは、しゅ（スプハーナワタアーラー）からたくされたみずからのじんせいについてもうしひらきをしないでなりません。いったい、どれほどいきをしてきたのか、すこやかさやげんせのみめぐみについてとわれることでしょう。わたしたちのすることすべてをきろくしたおこないのしよや、けっしてまちがうことのないせいかなはかり、そしてしんじつをしょうげんするしょうげんしゃたちがいます。そのひ、みじんのおもさのぜんにも、みじんのおもさのあくにもかならずむくいがあるでしょう。ふとうにあつかわれるものはだれもおらず、ぜんいんがそれぞれにふさわしいものをあたえられるでしょう。

しんあいなるムスリムのみなさま!

このよはしけんとしれんのばしょであり、じんせいはいちどきりです。ぜんこのアッラー（スプハーナワタアーラー）は、わたしたちのおこないについても、きかいにめぐまれていながらいがしろにし、ほうちしていたことについてもわたしたちのせきんをといただいたもうでしょう。ですからおくれになるまえに、つまりじんせいがおわるまえに、じぶんじんとむきあいましょう。「このひ、われらはかれらのくちをふうじる。かれらのてがわれらにものをいい、かれらのあしが、じぶんたちのえてきたことをしょうげんする」³とつげたもうわたしたちのしゅ（スプハーナワタアーラー）のみことばにみみをかたむけ、らいせにそなえましよう。アッラー（スプハーナワタアーラー）がわたしたちとともにおられ、つねにわたしたちをごらんになっていることをいしきし、ぜんこうとじぜんにおいてきそいましょう。あらゆるしゅるいのハラームやあくじ、またたにんのけんりをしんがいするふせいなこういをさけましよう。

ほんじつのきんようれいはいのホトバを、つぎのしょうくをもっておわります。「しんじるものたちよ。あなたがたはアッラーをおそれなさい。あしたのためにあらかじめなにをしたか、それぞれかんがえなさい。そしてアッラーをおそれなさい。アッラーは、あなたがたのおこないをじゅくちしている」。⁴

¹ Qiyamah, 75/13.

² Takathur, 102/8.

³ Ya-Sin, 36/65.

⁴ Hashr, 59/18